令和元年度　第 7 回　総会資料

令和二年 9 月 15 日

一般社団法人国際コーチング連盟日本支部

役員のご紹介

代表理事：紫藤由美子

President: Yumiko Shito, MCC

東京にて就職後、“グローバルなビジネスの舞台で挑戦したい”という強い想いから、２０代半ばで単身アメリカ・ニューヨークに移住。１２年にわたり、ニューヨークにおいて法人取引を主要事業とする米国不動産企業に勤務。その後、勤務先であるアメリカ企業の日本法人立ち上げのため駐在員として日本に帰国。４年にわたり日本法人の代表取締役を務める。これらの経験の中で、経営者が担う「未来を創造する」責任と、「潜在力を最大限に引き出しての効果的なリーダーシップ」の重要性を強く認識。その後コーチングに出会い、その効果を実感し自らも国際コーチ連盟認定プロフェッショナルコーチとなる。モルガン・スタンレーでの職責を経て 2013 年にヒューマン・キャピタル・アドバイザリー・パートナーズ（株）を設立。組織変革のためのコーチングを展開している。テキサス大学経営大学院修了

理事：荒木 まさえ Masae Araki, PCC

外資系メーカー勤務後渡米。 ロサンゼルスで国際ビジネスを経験中コーチングに出会い、テキサス大学の大学院にてエグゼクティブ＆ プロフェッショナルコーチングを学ぶ。アメリカ留学およびビジネス経験のみならず、海外生活で培ったグローバルマインドやバイリンガルスキルを基に、グローバル企業のエグゼクティブやリーダーを中心に国際社会における企業文化形成、人間関係構築や相互理解を コーチングでアシストしている。

今後も「クレデンシャル＆エデュケーション」担当として、ICF 資格説明会、Coaching in English Group 、ICF ジャパン勉強会の開催や、新プロジェクト企画・運営を通して、資格取得サポート、ICF の倫理規定とコア・コンピテンシーの学びの場の提供、コーチングの普及や発展に貢献していきたい。

理事：稲葉 直彦 Naohiko Inaba, ACC

国際コーチ連盟の認定プログラム（ACTP）を修了し、企業での組織マネジメントやリーダーシップにおけるコーチングの有効性を実務で痛感。2015 年に株式会社コーポレートウェルネスを設立し、企業・団体向けのコーチングサービスの開発と提供に注力。ICF ジャパンには 2015 年より運営委員（企画マーケティング担当）として参加。国内企業へのコーチングの普及とプロコーチの地位向上に力を入れている。MBA（経営管理学修士）。

理事：大坪 タカ Taka Otsubo, PCC

1964 年栃木県生まれ。大学卒業後、株式会社資生堂に入社。情報システム部、国際事業部で経験を積む。またその間に慶応大学で修士号取得。その後ＩＴコンサルティング会社を経て独立。

自身がコーチングと出会い、人生の舵を大きくシフトした体験からコーチングの普及活動に関わる。2003 年日本コーチ協会東京チャプターを設立、2009 年から 5 年間に渡りコーチング・フェスタを主催、2015 年に一般社団法人関係性開発協会を設立するなど、一貫してコーチングの啓発普及に関わる。

2014 年から ICF 日本支部の運営委員として関わる。現在はコーチングはもとより、組織開発、人財育成、リーダーシップ開発を中心に活動を展開している。CTI 認定 CPCC、CRR グローバル認定 ORSCC、TLC 認定 TLCCP。

理事：田中 智子　Tomoko Tanaka, PCC

総合商社と Goldman Sachs Japan に勤務後渡米。帰国後(株）Oppochu 代表取締役。茨城大・大学院講師。2005 年にＣＴＰを終了しコーチとして活動を開始。近年は企業幹部やリーダーの、意識変革やキャリア構築を扱う個別コーチング・研修に多く従事。2007 年の準備段階から日本支部の設立に関わる古株だが、今後はＩＣＦ米国本部と日本を繋ぐことに注力し、日本のコーチやコーチングの意識や質の向上に貢献してプレゼンスを高め、業界を盛り立てていきたい。

理事：徳永 正一　Shoichi Tokunaga, ACC

大学卒業後日系企業勤務を経て、1987 年にイギリスの情報会社の本社に営業として入社。8 年間の勤務を経た後、その日本法人に異動する。その後、知的財産業界や金融業界向け外資系企業の日本法人などで経営トップ等を務める。 2005 年エグゼクティブコーチの存在を知り、コーチングに興味を持ち始め、2009 年から Coach A 社の CTP を受講、コーチングの素晴らしさを体感する。 2017 年 2 月に、それまでのビジネス経験を活かし、エグゼクティブ・コーチングとリーダーシップ・コーチングを主体とする、人材開発と組織開発を支援する（株）カンプスを立ち上げる。 日本国内ではまだコーチングが正当な地位を得ていないこと、またコーチングのマーケットが十分に育っていないこと、を変えたいという強い想いを持ち 2017 年 9 月から ICF ジャパンの運営委員を務めてきた。コーチングの更なる発展とより良い社会作りに向けて邁進していきたい。

（五十音順、敬称略）

第 7 回定時総会開催にあたって

非営利型一般社団法人　国際コーチング連盟日本支部

代表理事　紫藤由美子

国際コーチング連盟代表理事、紫藤由美子です。
日頃より ICF ジャパンの活動にご賛同、ご支援くださり、誠にありがとうございます。
理事メンバーを代表いたしまして、心より感謝申し上げます。

世界規模での不測の事態が起きている中、既存の概念や考え方が大きく見直され、新しい価値の創出が問われています。

その中でも、ICF ジャパンでは、コーチングを通じて『個人の人生を豊かにする』、『社会を繁栄させる』、『平和な世界創り』に貢献することを目指し、このような状況だからこそ、コーチングの社会貢献が促進されるよう、取り組みを重ねております。

プロコーチとしてのさらなる研鑽の場の提供、英語によるコーチングの場の提供、倫理規定・コアコンピテンシーの理解を深めていただくため勉強会の提供、など継続している取り組みに加え、
全国の ICF 認定コーチにご参画いただいてのプロボノコーチングの全国展開、全 ACTP プロバイダー及び ACSTH プロバイダーによるアドバイザリーボード設立、ゲストスピーカーをお呼びしての講演会など、新しい取り組みにも力を入れてまいりました。

これらの活動は、グローバル連携強化、国内コーチ養成団体への貢献、国内のコーチへの貢献、コーチングの社会的な認知の拡大、企画計画活動の推進を柱にして、さらに進化、発展させてまいります。

ICF ジャパンの運営は、理事、運営委員などによる無償での活動で成り立っております。
会員各位におかれましては、日本のコーチング業界発展のために、ぜひ ICF ジャパンの活動・運営にぜひ積極的に関わっていただけますと幸いです。

コーチングの価値をより広く知っていただくため、そして日本のコーチング業界発展のため、みなさまと共に、理事・運営員を含めたボランティアがさらに一体となり、コーチングの普及、発展に尽力してまいります。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

１．　事業報告

1-(1) 日本社会に対する、国際基準のコーチングの普及・啓発事業

1-(1)-1 コーチング・コンバージ 2019 in Japan 開催

2019 年11 月16 日（土）に、御茶ノ水ソラシティアカデミアにて、第5回目となるイベントを実施いたしました。

当日は、80名近くの参加者にお集まりいただき、AI時代におけるコーチングの真価ということについて、AI及びコーチングに造詣の深いゲストをお呼びし、講演を行いました。また、ICFJの活動紹介も行い、よりICFJを広く知っていただく取り組みも行いました。

テーマ：「AI時代におけるコーチングの真価とは」
日時： 2019年11月16日（土）13:30 - 17:30（開場13:00）
場所：お茶の水教育カレッジ
　　御茶ノ水ソラシティアカデミア5階
参加者：約100名（スタッフ含む）

内容：
・オープニング・スピーチ
　ICF日本支部代表理事、紫藤由美子からご挨拶
・基調講演『AI時代のコーチングとは』
　Dongshuo Li（ドングショー・リー）氏
　UMU創設者／CEO
・ICFストラテジック・ディレクターによる事例紹介
　『コーチング文化を企業で醸成することの意義は？
　―ICFプリズムアワード受賞事例の紹介ー』
　Fiona Toy(フィオナ・トイ)氏
　ICFアジアパシフィック地区ストラテジック・ディレクター
・ICFJ理事＆運営委員によるICFJの活動紹介（20分）
　『ICFJがもたらす価値とは』
　　ICF日本支部理事　田中智子
　　ICF日本支部運営委員　田中裕子
・全体での学びの共有（20分）
・クロージング（10分）

＜終了後＞
・希望者によるネットワーキングタイム（45分）

1-(1)-2　2020 年 6 月 21 日（日）スポーツとコーチングイベントの開催

スポーツ界において、昨今注目を浴びているコーチングを扱っているプロジェクトは以下の目的から企画されました。

- 当初 2020 年 7 月から始まる「東京オリンピック 2020」の開催に向け、ICF ジャパンとしてオリンピック応援活動の一環として、またこのイベントを通して ICF ジャパンの存在と価値を社会に周知させる
- 昨今のスポーツ業界でのメンタルコーチングの有用性が脚光を浴びる中、アスリートへのメンタルコーチングとは、どのようなコーチング手法かを知り、パーソナルコーチングやビジネスコーチングへの応用の可能性を知る

そしてその講演の要綱を以下の通りに設定しました。
テーマ：『新しい時代を創り出すコーチング力 - オリンピックスポーツメンタルコーチから学ぶ逆境への立ち向い方』
講師:山家正尚氏（株式会社プロコーチジャパン　代表取締役社長）
会場：東京代々木オリンピック記念青少年総合センター
定員:50 名

しかしながら、コロナ禍により、急遽対面での講演からオンラインへの変更を余儀なくされました。また実質的にこの規模での ZOOM でのイベント開催は初めてということで、山家講師にも多大なご協力をいただき、事前のリハーサルを数回実施するという貴重な経験をさせていただきました。

当日は日本各地から定員いっぱいの 50 名の参加があり、山家講師からの内容の濃い、2 時間の講演が実施されました。内容は講演とワークからなり、参加者の皆さまには多くを学んでいただき、十分に楽し

んでいただけたものと思います。かなり好評をいただいていますので、できれば年次のイベントにできればと思っています。

講師とオンラインイベント運営スタッフ

1-(1)-3　2020 年 3 月 18 日（水）人と組織の変革・事例共有会 2 回目（コロナ禍のため中止）

ICF ジャパン主催の『人と組織の変革･企業事例共有会 第二回「AI テクノロジーとコーチングの未来 」会場：文京シビックホール 3 階会議室 1』のプロジェクトが、順調に集客が進む中、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、2 月中旬の段階でその開催の中止を決定いたしました。（残念ながら実施とはいたりませんでしたが、昨年末から準備しましたため、報告いたします。）

1-(1)-4　ACTP アドバイザリーボード設立

2018 年より、ACTP プロバイダーズサミットと称し、日本のコーチング市場をリードする組織の代表者による対話とネットワーキングの場を、2020 年から ACTP アドバイザリーボードとしてさらなる協働の場を確立。
日本の ACTP と ACSTH および ICF ジャパン理事メンバーによる、日本のコーチング業界の変革・進化への寄与、課題の解決など、組織の壁を超えて一丸となって活動する場が誕生。
2020 年 6 月 15 日（月）、ACTP アドバイザリーボードキックオフが Zoom にて開催。
参画団体は日本の全 ACTP、3ACSTH、の計 10 組織。

ACTP：
（株）コーチ・アイエヌジー
（株）コーチエイ
（株）ウエイクアップ
CRR Global Japan（合）
（株）コーチング・システムズ
（社）東京コーチング協会
（社）マインドフルリーダーシップインスティテュート
ACSTH：
（社）コーチングプラットフォーム
NPO 法人ヘルスコーチ・ジャパン
（株）アニメートエンタープライズ

1-(1)-5　プロボノコーチング（オンラインでの無償コーチングの仕組み）

背景：不測の事態、不安定な社会の中、ICF ジャパンとしてコーチングで貢献ができたらという想いからの発案。
目的：コーチングで貢献したいというコーチを募り、コーチングを必要とする人にセッションを提供をする仕組み構築。ICFJ の社会貢献活動促進。

5 月中旬に募集開始も、10 日間で 200 名を超えるお申し込みをいただき、期日 7 月末まで用意した枠がすぐに埋まってしまう、という状況の中、第一段階として、ICF ジャパン理事および運営委員有志の 15 名の体制で開始。

応募者は文字通り多様性に富み、学生からリタイヤされている人まで、そして国内のみならず海外在住者からの多くのお申し込みも。

8 月には第二段階として、日本全国から 25 名のコーチを募集し、プラットフォームを整え、プロボノコーチングを展開。

コーチは ICF の認定資格者、コア・コンピテンシーおよび倫理規定の学習を含めたオリエンテーションを経て実施開始。

1-(1)-6　CCE イベントをサイトに記載

ICF ジャパンでは、

(1) ICF 認定資格取得を目指す方のため

(2) ICF 本部会員資格を取得する方のため

また、認定資格・ICF 本部会員資格保持者の更新をしやすくしていただくため、それぞれのプロセス要件となる CCE（継続学習）単位の取得できるイベント等の情報を、引き続き法人パートナーの皆様の御協力をいただき、CCE 発行イベントとしてサイトとメールマガジンに掲載し、情報発信させていただいております。

参考）法人パートナー様一覧（2020 年 7 月 31 日現在）

株式会社 Oppochu
ビズナレッジ株式会社
株式会社コーチングバンク
一般社団法人コーチングプラットフォーム
コーチ・コントリビューション株式会社
富士ゼロックス総合教育研究所
NPO 法人ヘルスコーチ・ジャパン
株式会社コーチ・アイエヌジー
NPO 法人日本アクションラーニング協会
有限会社ドリームコーチ・ドットコム
株式会社ウエイクアップ
銀座コーチングスクール
株式会社コーポレートウェルネス
一般社団法人　東京コーチング協会
一般社団法人 日本コーチング教育振興協会
合同会社グローバルリンク
ソルナ・クリエイト株式会社
メンタルパワーパートナー®協会
シックスセカンズジャパン株式会社
株式会社 storyI
The Leadership Circle
CRR Global Japan
株式会社コーチング・システムズ
（株）MANABICIA
JCLA 一般社団法人ジャパンコーチラーニング
バランスト・グロース・コンサルティング株式会社
株式会社アート・オブ・コーチング
株式会社ヒューマンネクサスラボ

1-(2) ICF との情報交換及び、その情報の翻訳事業

1-(2) -1　Global Leader's Forum (GLF) 報告

COVID-19 の影響により GLF の開催時期と開催方法が変更となり、日本からの GLF 参加は中止。

1-(2)-2　Forum３ 参加　(月１回)

アジアパシフィックの大規模チャプター(ICF 会員 100 名以上)のでの 5 つ（オーストラリア・ニュージーランド、香港、シンガポール、マレーシア、日本）が集まり、チャプターとしての知見の交換やコラボレーションの可能性を探る。情報のインプットのみでなく、ジャパンとしての取り組みのアウトプットを図る。

1-(2)-3 コーチングワールドの翻訳

ICF ではコーチングワールド(CW)というコンテンツをオンラインで発信しています。ICF 日本支部では、ICF 本部の許可と翻訳ボランティア会員の協力を得て、このコーチングワールドの記事をピックアップして日本語に翻訳し、日本の皆様に世界のコーチング状況をお伝えしています。(※2017 年 12 月 9 日発行分より、従来の年 4 回発行の PDF 形式から、不定期掲載のオンライン記事形式に変更になりました。)

■『他人の感情への感度は、年齢によって変化する』
他人の感情、特に怒りなどを感じ取る能力は、実は年齢によって変化しています。10 歳～85 歳の男女 10,000 人を調査して分かった、思春期に大きく変化する特定の感情への感知能力や、変化についての考察とは。マクリーンズ・ホスピタルで行われた研究についての新しい論文についてのレポートです。
http://icfjapan.com/post/cw/1040

■『シュガーハイ(シュガーラッシュ)の真実』
甘いものを食べたり飲んだりするとパフォーマンスが上がったような気がすることがあります。シュガーハイと呼ばれる状態です。しかし、集中力 UP や疲労改善のために糖分をとるという行為は、本当に効果があるのでしょうか？ 最近の研究についてのレポートです。
http://icfjapan.com/post/cw/1079

■『インターネットがあなたの脳機能を変えている』
現代人は、多くの時間をインターネットを使って過ごしています。絶え間なく流れる通知や指示に対応することで、我々にはどんな影響があるのでしょうか？
複数の大学の研究者が集って行った国際チームによる調査レポートについての紹介です。
http://icfjapan.com/post/cw/1121

■『楽観主義は長生きに繋がるか？』
物事を良く捉える楽観的な人は長生きするか。そんな研究をハーバード公衆衛生大学院/ブリガムアンドウィメンズ病院のフランシーヌ・グロッドスタインらが行いました。
より効果的にストレスかや困難から立ち直るように、感情と行動を管理することができる楽観的な物事の捉え方をすることは、人の健康に影響を与えるのでしょうか？　研究についての簡単なレポートです。
http://icfjapan.com/post/cw/1224

■『人々を魅了するカリスマ性はコーチングで開発可能か？』
人々に信頼され、他者を導くことのできるカリスマ性のあるリーダーは、誰もがあこがれ、必要とするものでしょう。
では、その能力とは、一部の人間が持って生まれたものなのでしょうか？
それとも、コーチングで能力開発が可能なものなのでしょうか？
カリスマ性のあるリーダーの資質について、人を育てるコーチの視点から見ていきます。
http://icfjapan.com/post/cw/1306

■『失敗から学ぶ　～なぜリスクを冒すのか？～』
世の中には「失敗こそが最高の学ぶ機会である」など、リスクを取ることを推奨するスローガンがあふれています。理論上はそうですが、実際にクライアントが勇気を出し、自分を信じて失敗を恐れずに踏み出し、学んでいくために、コーチはどのようにサポートしたら良いのでしょうか？
キャロル・ドゥエックによる硬直型マインドセットと成長型マインドセットの研究などを元に、そのヒントになる考え方とよくある間違いについて、プロフェッショナル・ディプロップメントのラーニング・プログラムの開発なども手がけるパーソナル・ディブロップメント・コーチ、ジェーン・ブロッチーからのレポートです。
http://icfjapan.com/post/cw/1336

■『決めつけることの問題：失敗例とそこからの学び』
コーチング中に、クライアントの変化を聞き分けるのは、コーチにとってとても大事な仕事のひとつです。しかし、その時にその変化が何によるものなのかを決めつけてしまうと、それはリスクにもなり得ます。
実際のコーチングの現場であった失敗を例に、コーチがプロとして機能するために聞くべきことと、決めつけを行わないためにどんなスキルを育てるべきか、ICF プロフェッショナルコーチの国際理事会などで活躍するサラ・スミスによる提案です。
http://icfjapan.com/post/cw/1390

■『仕事に情熱を持つ時、そこに忍び寄る搾取には気を付けよう』
情熱を持てる仕事を持つことはとても素晴らしいことです。しかし、そうした従業員は時に、搾取の対

象となってもそのことに目を向けることが出来なくなることがあります。
デューク大学の研究者らによる研究についての紹介です。
http://icfjapan.com/post/cw/1417

■『新年に抱負を語る？ いや、まだ早い。』
新しい年が明けた時、良い１年となるよう人は目標を立て、ゴールリストを作成しようとします。
しかし、抱負を語るに良い季節は１月なのでしょうか？
コーチやクライアントが目標を立て、モチベーションをあげるのに効果的な季節についての提案です。
http://icfjapan.com/post/cw/1501

■『ストレスを軽減するために』
我々コーチは、しばしばクライアントの人生の重要な局面に立ち会います。その時、クライアントは大きな成功とストレスの間で悩んでいることも少なくありません。
ストレスとは何か、ストレスがどのように作用し、どのように管理できるのかをしっかりと理解し、クライアントをサポートすることはコーチングの効果を高める為に重要です。
ストレスについてのマインドセットや、必要なスキルについて、米国ミネアポリス（ミネソタ州）のエモーショナル・ウェルネス・コーチであるエリック・ラーソン（PCC）による提言です。
http://icfjapan.com/post/cw/1550

■『コーチングで用いる７つのギア』
プロコーチの役割は、目的地へ着きたいクライアントを、その選んだルートに沿って車を走らせ連れていく車の運転のようなものです。
セッションは、エンジンがまだ温まっていないローギアな状態から始まり、シンプルで論理的な質問から、徐々に複雑な質問や行動のデザインに繋がる会話へとシフトチェンジをしていきます。
それぞれのギア（会話の進行）の状態では、どんな質問をすべきで、効果的なセッションのためにはどんな流れを意識すべきなのか。車のギアに例えてクライアントを停滞させることなく前に進められるコーチングのポイントを解説していきます。
http://icfjapan.com/post/cw/1599

■『ビジネスを少ないリソースで高速に成長させる指数関数型組織に変えるために』
近年急成長を続ける企業の多くが自らのリソースだけに頼った旧来の直線的な成長ではなく、外部リソースを活用したり、トップダウンの管理構造を捨てたりと新たな構造の組織を作ることで指数関数型な成長を実現しています。
クライアントの構造改革を手助けするために、コーチが考えるべき点とは。
http://icfjapan.com/post/cw/1702

1-(2)-4 その他の翻訳

ICF 新倫理規定及びコア・コンピテンシーの翻訳協力
ICF による COVID-19 に関するグローバルリサーチの質問文の和訳チェック

1-(3) 地域活動支援事業

特に無し

1-(4) セミナー・イベント事業

1-(4)-1 コーチングプラクティスとコーチングプラクティス for ALL 報告

「コーチングプラクティス」は ICF の資格（ACC, PCC, MCC）を有する経験のあるコーチ向けにコーチングの練習の場を提供する勉強会です。グランドルールの下、PCC マーカーから自らのテーマを決め、自身のコーチングを研磨し、毎回深い学びを得られる場となっています。

「コーチングプラクティス for ALL」は、ICF の資格保持者に加え、ICF の資格取得を目指す人も対象とした学びの場です。

COVID-19 の影響を受け 4 月の開催は中止し、5 月よりオンラインでの開催に変更しました。今まで東京と神戸の二カ所で開催していましたが、オンラインになったことにより全国から参加いただき、参加者の人数も増加しました。

コーチングプラクティスは対面の開催も重要としていますので、状況を見つつ開催の仕方を検討していきます。

コーチングプラクティス　&　コーチングプラクティス for ALL

日付：2019 年 9 月 24 日、11 月 26 日、2020 年 1 月 28 日（コーチングプラクティス）
2019 年 12 月 12 日　（コーチングプラクティス for ALL）
会場：文京シビックセンター　区民会議室
時間：19:00～21:00
オーガナイザー：畑さち子（PCC）運営委員、荒木まさえ（PCC）理事

コーチングプラクティス in 神戸

日時：2019 年 9 月 29 日、11 月 19 日
会場：神戸市産業振興センター会議室
時間：13:15～16:45
オーガナイザー：山本貴史（PCC)、栂村雅美（PCC）運営委員

日時：2020 年 4 月 21 日、5 月 26 日、7 月 28 日（コーチングプラクティス）
　　2020 年 6 月 11 日（コーチングプラクティス for ALL）
会場：Zoom
時間：19:00～21:00
オーガナイザー：畑さち子（PCC）、山本貴史（PCC）、栂村雅美（PCC）、櫻木友紀（ACC）、荒木まさえ（PCC）理事

1-(4)-2　Zoom による ICF ジャパン勉強会～倫理規定（上・下）～

ICF の資格更新に必要な倫理規定の CCE 取得を目的として ICF ジャパン勉強会を開催しました。昨年度の開催に比べ多くの方の参加を受け、ICF の資格の認知の高まりを認識しました。

日付：2019 年 11 月 25 日、12 月 17 日

時間：19:00-20:30
会場：Zoom
ファシリテーター：荒木まさえ（PCC)、稲葉直彦（ACC）　理事
CCEU 1.5/回 x2 回=3.0

1-(4)-3　コーチングインイングリッシュグループ報告

コーチングインイングリッシュグループ（Coaching in English Group）

ICF のコア・コンピテンシーに準拠したコーチングを英語で学ぶ場を提供するため、ICF ジャパンでは「Coaching in English Group」を年 4 回開催しています。質の高い勉強会と好評を得ております。COVID-19 の影響を受け、5 月よりオンライン開催に変更しました。

Date: September 26, 2019 19:00-21:00
Place: Bunkyo Civic Center
Title: How to Sell Coaching to Companies in Japan – and Best Practices after You're Hired
Speaker: Shoichi Tokunaga, ACC
CCEU: 2 Units

Date: November 21, 2019 19:00-21:00
Place: Bunkyo Civic Center
Title: Props in Coaching: Supporting Deeper Awareness and Faster Results for Clients
Speaker: Tanja Bach
CCEU: 2 Units

Date: May 8, 2020 19:00-21:00
Place: Online
Title: Coaching in Crisis: Helping Clients Embrace Fear and Access Hope
Speaker: Andrew Shaffer, MCC
CCEU: 2 Units

1-(4)-4　ICF ジャパン認定 ICF CC&Code ファシリテーター養成講座

ICF ジャパンアンバサダー制度を ICF ジャパン認定 ICF CC&Code ファシリテーター養成講座(仮)に名前が変更になりました。ICF コア・コンピテンシーと倫理規定が変更したことにより、プログラムの内容を見直しし、再設計をすることとなりました。
第 0 期は 2020 年 11 月から開始する見込みです。

オーガナイザー: 稲葉直彦（ACC)、荒木まさえ（PCC)、田中智子（PCC）　理事

1-(4)-5　プロボノコーチングのための ICF CC&Code 共有会

プロボノコーチングプロジェクトを行うにあたり、ICF ジャパン内部にてプロボノコーチングの ICF での位置づけ、新しい倫理規定とコア・コンピテンシーの共有会を開催しました。この共有会を基に、外部コーチのプロボノコーチング開始前の教育プログラムを構築していきます。

日時：2020 年 7 月 1 8 日
会場：Zoom
時間：19:00～21: 3 0
ファシリテーター：荒木まさえ（PCC)、田中智子（PCC）理事

1-(5) コーチングに関する調査研究事業・コーチ紹介事業

1-(5)-1 ICFJ 正会員＆資格保持者のうち希望者をサイトで紹介

ICFJ では、ICF 資格を保持している ICFJ 正会員の皆様を、御希望いただいた方に限り、サイトで御紹介させていただくことに致しました。

＊御紹介は、ICF（本部）のメンバーページへのリンクという形で提供させていただいています。
＊参考：2019 年 8 月 1 日現在、日本人全体での資格保有者数は、ACC 300 名、PCC 219 名、MCC 36 名となっています。

＊掲載協力会員リスト（敬称略、2020 年 7 月 31 日現在）

MCC 資格保有者 （10 名）

紫藤由美子　樋口富砂子　近藤真樹　寺田由美　小林里江　木村純子　生嶋幸子　青木理恵
猪俣恭子　渡辺照子

PCC 資格保有者（29 名）

田中智子　山田浩史　栂村雅美　浅井真帆　荒木まさえ　大坪タカ（隆志）　藤原只敏
矢野紗基　山本貴史　籠橋輝子　畑さち子　杉嶋奈津子　田村　恵　斉藤知江子　鈴木安子
緒方幹代　渡辺久美子　ビカー・リオネル　後藤美香　本田賢広　鈴木結子　中村琢也
津野恵美子　臼井　礼　江口亜樹男　岩元佳子　高橋美佐　角田知行　藤田　潮

ACC 資格保有者（18 名）

松尾英昭　轡田芳広　遊道直美　倉田隆弘　関口詩乃　辻　剛　松川美保　山本 篤
桑原奈緒子　江尻裕一　稲垣未来皇　土方奈々絵　佐藤由佳子　櫻木友紀　茂木ゆういち
稲員諒翔　泉　雪恵　河西克彦

最新版はこちらにて紹介させていただいております。
http://icfjapan.com/post/credentials/568

1-(5)-2　コーチ向けサンプル資料の公開

昨年来、ICFJ で取り組んで来た、コーチがクライアントと結ぶ契約書についてのひな形について完成し、5 月に一般公開いたしました。
今後も、このようなコーチングに役にたつ資料の提供を行っていきます。

内容は以下の 2 点になります。
・コーチング契約時の個人向けコーチングセッション同意書のサンプル
・クライアントがコーチングを受けるにあたってのご案内用の資料

1-(6) 出版及び教材の発行

1-(6)-1 メールマガジンの発行

毎月、会員・パートナー様向けの御案内と、非会員様向けの情報メールを分けて、それぞれ内容を変えて各 1 回、情報提供を行いました。(以下は会員・パートナー向け内容)

ICFJ 2019 年 8 月号 ━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━

[会員限定記事]
◆国際コーチ連盟（ICF）本部メンバー資格更新時期のお知らせ
◆理事任期満了に伴う改選についてのお知らせ

[一般公開記事]
◆【ICF ジャパン主催】　コーチング・コンバージ 2019 in Japan
◆【ICF ジャパン主催】　コーチングプラクティス第 9 回
◆【ICF ジャパン主催】　コーチングプラクティス in KOBE

◆ コーチングワールド：
■『他人の感情への感度は、年齢によって変化する』
◆ 8 月～9 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]
---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2019 年 9 月号 ―――――――――――――――――――――――――――――

[会員限定記事]
◆国際コーチ連盟日本支部第 6 回定時総会の御案内
◆国際コーチ連盟（ICF）本部メンバー資格更新時期のお知らせ

[一般公開記事]
◆ICF グローバル コーチング サーベイ 参加のお願い
◆ICFJ Coaching in English Group September Meeting
◆【ICF ジャパン主催】 コーチング・コンバージ 2019 in Japan
◆【ICF ジャパン主催】 コーチングプラクティス第 9 回
◆【ICF ジャパン主催】 コーチングプラクティス in KOBE

◆ コーチングワールド：
■『シュガーハイ(シュガーラッシュ)の真実』
◆ 8 月～9 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]
---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2019 年 10 月号 ―――――――――――――――――――――――――――――

[会員限定記事]
◆国際コーチ連盟日本支部第 6 回定時総会の御報告
◆国際コーチ連盟（ICF）本部メンバー資格更新時期のお知らせ

[一般公開記事]
◆【ICF ジャパン主催】　コーチング・コンバージ 2019 in Japan
◆【Zoom による ICF ジャパン勉強会～ 倫理規定（上・下）～】
◆【ICF ジャパン主催】　コーチングプラクティス第 10 回
◆ICF グローバル コーチング サーベイ 参加のお願い

◆ コーチングワールド：
■『インターネットがあなたの脳機能を変えている』
◆10 月～11 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]
---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2019 年 11 月号 ―――――――――――――――――――――――――――――――

[一般公開記事]
◆【ICF ジャパン主催】　コーチング・コンバージ 2019 in Japan
◆【Zoom による ICF ジャパン勉強会～ 倫理規定（上・下）～】
◆ICFJ Coaching in English Group November Meeting
◆【ICF ジャパン主催】　コーチングプラクティス第 10 回
◆【ICF ジャパン主催】　コーチングプラクティス for ALL　第 1 回
◆ICF グローバル コーチング サーベイ 参加のお願い

◆ コーチングワールド：
■『インターネットがあなたの脳機能を変えている』
◆10 月～11 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]

---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

━━

ICFJ 2019 年 12 月号 ━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━

[会員限定記事]
◆ICFJ 臨時会員総会のお知らせ
◆新コア・コンピテンシー翻訳確認のお願い

[一般公開記事]
◆【Zoom による ICF ジャパン勉強会～ 倫理規定（下）～】
◆【ICF ジャパン主催】コーチングプラクティス　in KOBE
◆ICF グローバル コーチング サーベイ 参加のお願い

◆ コーチングワールド：
■『インターネットがあなたの脳機能を変えている』
◆12 月～1 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]
---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

━━

ICFJ 2020 年 1 月号 ━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━

[一般公開記事]
◆新年のご挨拶

[会員限定記事]
◆ICFJ 臨時会員総会のお知らせ

[一般公開記事]

◆【ICF ジャパン主催】コーチングプラクティス　in KOBE
◆【ICF ジャパン主催】コーチングプラクティス第 11 回
◆【ICF ジャパン主催】コーチングプラクティス第 12 回

◆ コーチングワールド：
■『失敗から学ぶ　～なぜリスクを冒すのか？～』
◆1 月～2 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]
---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2020 年 2 月号 ―――――――――――――――――――――――――――――

[一般公開記事]
◆新年のご挨拶

[会員限定記事]
◆ICFJ 臨時会員総会の御報告

[一般公開記事]
◆ICFJ Coaching in English Group February Meeting
◆【ICF ジャパン主催】コーチングプラクティス第 12 回

◆ コーチングワールド：
■『決めつけることの問題：失敗例とそこからの学び』
◆2 月～3 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]
---------事務局からのお知らせ---------

◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2020 年 3 月号 ――――――――――――――――――――――――――――――

[一般公開記事]
◆ICF 本部メンバー資格更新時期のスタートです
◆ICF、ICFJ 名称変更のお知らせ

[会員限定記事]
◆ICF コア・コンピテンシーモデル 2021 年更新版
◆ICF CODE OF ETHICS 国際コーチング連盟の定める倫理規定
2020 年改訂　翻訳 β 版
◆（ICF 本部）資格申請の提出書類（スクリプト）の要件の変更

[一般公開記事]
◆3 月までのイベント開催に関するご案内
◆【ICF ジャパン主催】　コーチングプラクティス第 13 回

◆ コーチングワールド：
■『仕事に情熱を持つ時、そこに忍び寄る搾取には気を付けよう』
◆3 月～4 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]
---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2020 年 4 月号 ――――――――――――――――――――――――――――――

[一般公開記事]
◆親愛なるコーチのみなさまへ（ICFJ よりのメッセージ）
◆ICF 本部より、新型コロナ関連参考情報

[会員限定記事]
◆2020 年の ICF 本部会員資格更新時期変更のお知らせ
◆ICF 認定資格申請者をサポートするための一時的な変更
◆ICF ジャパン特別企画「みんなで語ろう！ ”Let's Meet Up!”」

[一般公開記事]
◆【ICF ジャパン主催】　コーチングプラクティス第 13 回
◆ICF、ICFJ 名称変更のお知らせ

◆ コーチングワールド：
■『新年に抱負を語る？ いや、まだ早い。』
◆4 月～5 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]
---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2020 年 5 月号

[一般公開記事]
◆無償コーチング（プロボノ）提供のお知らせ

[会員限定記事]
◆コーチ向けサンプル資料を公開しました
◆倫理規定翻訳版（修正版）をリリースしました
◆2020 年の ICF 本部会員資格更新時期変更のお知らせ（ICF 本部）
◆ICF 認定資格申請者をサポートするための一時的な変更（ICF 本部）

[一般公開記事]
◆ICFJ Coaching in English Group May Meeting
◆【ICF ジャパン主催】コーチングプラクティス第 14 回
◆【ICF ジャパン主催】コーチングプラクティス　for ALL　第 2 回

◆ICF、ICFJ 名称変更のお知らせ

◆ コーチングワールド：
■『ストレスを軽減するために』
◆5 月～6 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]
---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

ICFJ 2020 年 6 月号

[一般公開記事]
◆無償コーチング（プロボノ）提供お申し込み完了のお知らせ

[会員限定記事]
◆コーチ向けサンプル資料を公開しました
◆倫理規定翻訳版（修正版）をリリースしました
◆2020 年の ICF 本部会員資格更新時期変更のお知らせ（ICF 本部）
◆ICF 認定資格申請者をサポートするための一時的な変更（ICF 本部）

[一般公開記事]
◆【ICF ジャパン主催】オンラインワークショップ
◆【ICF ジャパン主催】コーチングプラクティス　for ALL　第 2 回

◆ コーチングワールド：
■『コーチングで用いる 7 つのギア』
◆6 月～7 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]

---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

━━

ICFJ 2020 年 7 月号 ━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━

[一般公開記事]
◆新型コロナウィルス感染症に関するグローバルリサーチ
◆【ICF ジャパン主催】コーチングプラクティス第 15 回
◆無償コーチング（プロボノ）提供お申し込み完了のお知らせ

[会員限定記事]
◆コーチ向けサンプル資料を公開しました
◆ICF 資格申請のための新しい書き下し要件の変更点について（ICF 本部）
◆2020 年の ICF 本部会員資格更新時期変更のお知らせ（ICF 本部）
◆ICF 認定資格申請者をサポートするための一時的な変更（ICF 本部）

◆ コーチングワールド：
■『ビジネスを少ないリソースで高速に成長させる指数関数型組織に
　変えるために』
◆7 月～8 月の CCE 発行イベントのお知らせ

[会員限定記事]
◆ボランティア（運営委員）を募集しています。

[会員限定記事]
---------事務局からのお知らせ---------
◇「ICF 資格取得者一覧」登録希望者を引き続き募集します
◇ 翻訳ボランティア募集のお知らせ

━━

1-(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1-(7)-1　ICFJ 運営メンバー間のコミュニケーション

ICF ジャパンは、2020 年 2 月より、新型コロナウィルスの感染予防のため、対面での会議体を行わず、全ての会議、ミーティング、外部向けイベントを原則的にオンラインで実施することを決定した。

ミーティングの実施方法をオンライン化したことで、、これまでの対面実施で、タイムリーに行うことのできない壁（実施時間帯・開催場所など）の物理的な制約が外れた。これにより、開催頻度や回数、実施時間、参加者数が大幅に増加した。また、関西や台湾在住の運営委員の参加も可能となり、理事・運営委員内のコミュニケーションが劇的に活発化し一体感が。醸成された。そのおかげて、プロボノコーチングのトライアル活動の実施や本格導入に向けての準備活動を短期間で実現することができた。

（主なミーティング）

運営会	月 1 回　2 時間
理事ミーティング	月 1 回　2 時間
プロジェクト進捗共有会	週 1 回　1 時間　→　月 4 回　4 時間

上記以外に各チームで適宜集まりミーティングを実施。

1-(7)-2　臨時社員総会　2020 年 1 月 20 日

ICF 本部名称変更の反映のため、団体名変更のための臨時社員総会を開催した。

1-(7)-3 理事の退任と補充

理事　徳永正一　より、一身上の都合にて、任期満了を待たずに今期総会を以て役員（理事）を退任をしたい旨、申し出があり、了承した。事業継続の為、補充としての理事を運営委員の中から選出した。
なお、定款 27 条の規定に基づき、新任理事の任期は、選任後 1 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結のときまでとする。

・理事候補者の確定について
令和 2 年9月 7 日に、選挙管理人1名の立ち合いのもと、立候補の意思を確認した現運営委員について、理事による投票を行い、次期理事候補者を下記の 1 名と決定した。更に、本理事会において、次期理事としての活動意思を確認し、総会にて承認を仰ぐものとする事を決定した。

藤原只敏（現運営委員、正会員、PCC）

2．事業計画

2-(1) 2020 年度 事業計画

2-(1)-1　事業部門

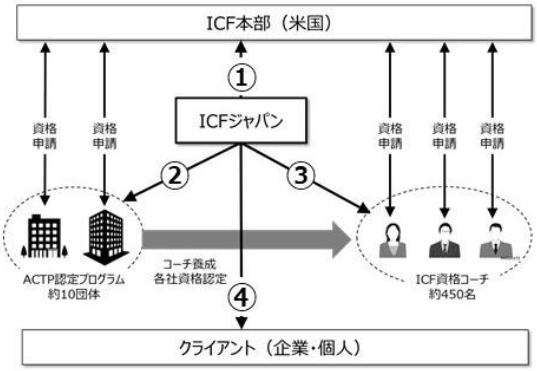
2020年度 ICFJ活動方針と主要プロジェクト

ICFJ活動方針

1. 国内におけるICFジャパンのプレゼンスを高める活動を加速する。
2. ICFジャパンの価値訴求を具体化し、分かり易く伝えることで、正会員増加を図る。

主要プロジェクト

国内のステークホルダーへの貢献をより具体化するために、下記のプロジェクトを推進していく。



① グローバル連携強化

- グローバルとの連携強化 継続
- 本部情報の日本語化（翻訳）と国内での情報提供 継続
- アセッサー育成 継続

② 国内コーチ養成団体への貢献

- **ACTPアドバイザリーボード 強化**

③ 国内のコーチへの貢献

- コーチングコンバージ 継続
- コーチングプラクティス 継続
- Coaching in English Group 継続
- ICFJ勉強会 継続
- **各種研究会 新規**
- **CODE&CC研究会（第1期） 新規**
  （旧称・アンバサダー制度）

④ コーチングの社会的な認知の拡大

- **ACTPアドバイザリーボード 強化**
- **プロボノコーチング 新規**
- 人と組織変革コミュニティ 継続
- **他団体との連携（外部連携） 新規**
- 国内広報活動の推進 継続

⑤ 企画計画活動の推進

- 各種会議体の企画推進
- すべてのプロジェクト支援
- 各種情報収集及び調整

プロボノコーチング事業を本格開始

✓ ICFジャパンは、「コーチングを社会の共通言語とする」活動の一環として、プロボノコーチングのプラットフォームを構築。今後、継続的な事業として展開していく。

ロードマップ

国内におけるプロボノコーチングの本格展開を8月に開始。年内に継続的な事業として軌道に乗せていく。

		Step1 助走	Step2 離陸	Step3 巡行航路
狙い		ICFJとしてプロボノコーチングの実施を正式宣言し、継続的活動として立ち上げる。	基本プロジェクト単位を設定し、運用スキームを構築する。	基本プロジェクト単位をベースに、拡大目標を設定・実行する。
実施期間		8月1日～30日	9月1日～11月30日	12月以降
目標数	クライアント数	-	50名／月	100名／月
	コーチ数	-	25名	50名
実施事項		1. 広報・集客トライアル始動 2. 登録コーチへの教育方法準備 3. 運用プロセス準備（契約書／ITシステム等） 4. コーチ募集 5. 全体シナリオ作成	1. クライアント募集 2. 広報活動開始 3. 運用プロセス改善	1. クライアント募集 2. 広報活動強化 3. 運用プロセス・体制見直し

プロボノコーチング特設サイト

クライアント、コーチ向けに特設サイトを提供。クライアントの応募から契約、進捗管理、完了報告までのプロセスを一元的にサポート。

ICFJの主要KPI（目標値）と重点プロジェクト

✓ 重点プロジェクトの活動プロセスを相互連携させて、主要KPI（目標値）の達成を目指す。

区分	目標値		
	2018 Act	2019 Act	2020 Plan
ICFJ正会員	90	120	160
アソシエイツ	22	22	40
本部会員	261	330	400
資格保有者	555	605	660
法人パートナー	20	28	30

重点プロジェクト	PMO ●メイン ○サブ					
	資格教育	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｴｿﾞﾝ	広報	プロモーション	企画	代表
1．コーチングコンバージ			●			
2．コーチングプラクティス	●					
3．ICFジャパン勉強会	●					
4．Coaching in English Group	●					
5．プロボノコーチング				●	○	
6．CODE&CC研究会	●			○		
7．各種研究会活動				●		
8．人と組織変革研究会				●		
9．ACTPアドバイザリーボード				○	●	
10．本部情報日本語化		●				
11．アセッサー育成	●				○	
12．国内広報			●			
13．他団体との連携（外部連携）				●		
14．業務プロセス改善横断	○	○	○	●	○	

2-(1)-2　非事業部門

設立以来、Word や Excel などの基本ソフトのみで運営してきたが、昨今の入退会の増加を鑑み、業務効率を向上させ、会員管理の機能を強化すべく、ＣＲＭ等のＩＴツールの導入を検討する。
（上限予算：50 万円）

３．会計報告・予算案

3-(1) 令和元年度会計報告

令和１年度　貸借対照表

令和2年 7月31日　現在

非営利型一般社団法人　国際コーチ連盟日本支部　（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金	69,402		
普通預金	3,821,759		
売掛金	53,364		
流動資産合計		3,944,525	
資産合計			3,944,525
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金	16,771		
未払法人税等	196,200		
流動負債合計		212,971	
負債合計			212,971
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産		0	
2　一般正味財産		3,731,554	
正味財産合計			3,731,554
負債及び正味財産合計			3,944,525

令和1年度　収支計算書

自　令和1年8月1日
至　令和2年7月31日

非営利型一般社団法人　国際コーチ連盟日本支部　（単位：円）

科　目	（非収益部門）	（収益部門）	（合　計）
（資金収支の部）			
Ⅰ　経常収入の部			
1　会費収入			
正会員会費収入	408,000	－	
アソシエイツ収入	202,000	－	
法人ﾊﾟｰﾄﾅｰ会費収入	1,290,000	－	
2　運用財産収入			
預金利息収入	－	19	
3　その他収入			
カンファレンス協賛金	－	1,070,000	
イベント収入	－	1,146,500	
支援金収入	627,517	－	
経常収入合計	2,527,517	2,216,519	4,744,036
Ⅱ　経常支出の部			
1　事業費			
旅費交通費	－	5,060	
荷造運賃	－	1,510	
会場費	－	313,121	
イベント経費	－	291,010	
交際費	－	140,294	
事業費合計	－	750,995	750,995
2　管理費			
業務委託費	630,579	559,192	
通信費	27,588	24,465	
顧問料	57,240	50,760	
会議費	37,713	33,443	
広告宣伝費	46,453	41,194	
地代家賃	137,376	121,824	
消耗品費	49,242	43,667	
租税公課	21,518	19,082	
交際費	2,805	2,487	
支払手数料	5,641	5,002	
法人税等	－	196,202	
経常支出合計	1,016,154	1,097,319	2,113,473
経常収支差額	1,511,363	368,205	1,879,568
Ⅲ　その他資金収入の部			
1　その他資金収入	0	0	
その他資金収入合計	0	0	0
Ⅳ　その他資金支出の部			
1　その他資金支出	0	0	
その他資金支出合計	0	0	0
当期収支差額			1,879,568
前期繰越収支差額			1,851,986
次期繰越収支差額			3,731,554
（正味財産増減の部）			
Ⅴ　正味財産増加の部			
1　資産増加額			
売掛金等増加額		5,819,734	
資産増加額合計			5,819,734
2　負債減少額			
未払法人税減少額		70,000	
未払金等減少額		831,012	
負債減少額合計			901,012
増加額合計			6,720,746

Ⅵ　正味財産減少の部			
1　資産減少額			
売掛金等減少額		3,800,095	
資産減少額合計			3,800,095
2　負債増加額			
未払金等増加額		844,883	
未払法人税増加額		196,200	
負債増加額合計			1,041,083
減少額合計			4,841,178
当期正味財産増加額			1,879,568
前期繰越正味財産			1,851,986
期末正味財産合計			3,731,554

計算書類に対する注記

1　管理費に関しては、非収益部門と収益部門それぞれ収入の比で按分しております。（法人税等を除く）

2　消費税等の会計処理は税込方式によっております。

正味財産増減計算書

令和1年8月1日～令和2年7月31日

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
①受取会費	1,900,000	1,418,000	482,000
②受取協賛金	1,070,000	80,000	990,000
③受取イベント費	1,146,500	867,000	279,500
④受取支援金	627,517	1,130,992	-503,475
⑤受取寄付金	0	6,000	-6,000
⑥受取利息	19	3	16
経常収益計	4,744,036	3,501,995	1,242,041
(2)経常費用			
①事業費			
旅費交通費	5,060	23,320	-18,260
荷造運賃	1,510	0	1,510
会場費	313,121	344,890	-31,769
イベント経費	291,010	145,697	145,313
交際費	140,294	270,000	-129,706
②管理費			
業務委託費	1,189,771	1,168,344	21,427
旅費交通費	0	307,811	-307,811
通信費	52,053	22,190	29,863
顧問料	108,000	108,000	0
交際費	5,292	23,220	-17,928
会議費	71,156	151,580	-80,424
広告宣伝費	87,647	279,887	-192,240
地代家賃	259,200	259,200	0
消耗品費	92,909	0	92,909
諸会費	0	60,000	-60,000
租税公課	40,600	0	40,600
支払手数料	10,643	12,318	-1,675
経常費用計	2,668,266	3,176,457	-508,191
当期経常増減額	2,075,770	325,538	1,750,232
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計			
(2)経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	2,075,770	325,538	1,750,232
法人税,住民税及び事業税	196,202	70,000	126,202
一般正味財産期首残高	1,851,986	1,596,448	255,538
一般正味財産期末残高	3,731,554	1,851,986	1,879,568
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
Ⅲ　正味財産期末残高	3,731,554	1,851,986	1,879,568

3-(2) 監査報告書

監査報告書

令和２年９月５日

一般社団法人　国際コーチング連盟日本支部
代表理事　紫藤　由美子　殿

監事　中村浩史　㊞

私は、一般社団法人　国際コーチング連盟日本支部の令和元年８月１日から令和２年７月３１日までの第７期事業年度の業務について監査を実施し、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

１．監査の方法の概要

監事は、一般に定められた監査手続きに従い、事務局から事業の報告を徴収し、業務および財産の状況を調査しました。

また、決算報告書および事業報告書につき検討を加えました。

２．監査の結果

（１）決算報告書は、決算の状況を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。

（２）事業報告書は、一般社団法人　国際コーチ連盟日本支部の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。

（３）理事の職務遂行に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以　上

3-(3) 令和元年度事業計画／予算案

3-(3)-1　事業計画

プロジェクト	Prj No.	概要	時期	目標	収入 ①	支出 ②	利益 ①-②	収支根拠
コーチングコンバージ	1	国内のコーチを集めてのイベント。2020年度は初のオンライン開催（Zoom）	11月７日	150名	880,000	650,000	230,000	収支計画参照
コーチングプラクティス	2	関西地区のコーチを対象にコーチングの練習の場を提供。コーチングプラクティス in 神戸	4月	参加者数 会員・アソシエイツ 4人/回 非会員 2人/回	29,000	15,500	13,500	収入 会員・アソシエイツ 4,500円×4人＝18,000円/回 非会員 5,500円×2人＝11,000円/回 支出 Peatix；3,000円 会場費；7,500円 リフレッシュメント；5,000円
		コーチのためのコーチングの練習の場を提供。ICFコーチを対象とするコーチングプラクティスに加えて、資格のないコーチを対象とするコーチングプラクティスfor ALLを実施。2020年度は初のオンライン開催（Zoom）	9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月	参加者数 会員・アソシエイツ 12人/回 非会員 4人/回	484,000	48,000	436,000	収入 会員・アソシエイツ 2,500円×12人＝30,000円/回 非会員 3,500円×4人＝14,000円/回 支出 Peatix；3,000円×11回＝33,000円 会場費；5000円×3回＝15,000円
ICFジャパン勉強会	3	ICFJのことを知るための各種勉強会を開催。2020年度は、倫理規定・コアコンピテンシーに関する講座を実施。（Zoom）	11月 1.5H×1回 12月 1.5H×1回	参加人数 正会員・アソシエイツ 10人/回	60,000	6,000	56,000	収入 正会員・アソシエイツ （3,000円／人×10人）×2回 支出 Peatix3,000円×2回

プロジェクト	Prj No.	概要	時期	目標	収入 ①	支出 ②	利益 ①-②	収支根拠
Coaching in English Group	4	国内在住の外国人コーチのための勉強会を開催。2020年度はオンラインで開催。	9月 11月 1月 4月	参加人数 会員・アソシエイツ 3人/回 非会員 3人/回	72,000	12.200	59,800	収入 会員・アソシエイツ （2,500円×3人）=7,500円/回 非会員 3,500円×3人＝10,500円/回 支出 Peatix；1,800円×4回 会場費；5,000円／回
プロボノコーチング	5	いま、コーチングが必要な人に世界標準のコーチングを届けるをコンセプトに今年度より開始。オンラインによる無償コーチングプラットフォーム。	通年		0	100,000	▲100,000	ITインフラ整備
CODE・CC研究会	6	ICFの倫理規定・コアコンピテンシーを深く読み込み、解釈の仕方を考える研究会。研究生OBを中心に、ICF倫理規定・コアコンピテンシーを広めていく。2020年度より開始。	11～3月	参加者数 8人	1,280,000	100,000	1,180,000	収入 160,000円×8人 支出 1.映像配信ツール　Vemeo　5,000円／月×12か月=60,000円／年 2.レポート閲覧管理ツール　1,000円／月×12か月＝12,000円／年 3.特設サイト制作＆公開システム JIMDO Pro　19,080円／年
研究会活動立ち上げ	7	ICFJ正会員による自主研究会活動を支援	年間	2テーマ	TBD	TBD	TBD	2020年度は原則的にオンライン（Zoom）だが、対面で開催する場合は、会場費が発生。
人と組織の変革研究会	8	同上	TBD	TBD	TBD	TBD	TBD	同上

プロジェクト	Prj No.	概要	時期	目標	収入 ①	支出 ②	利益 ①-②	収支根拠
ACTPアドバイザリーボード	9	日本のコーチング業界発展のための、組織の壁を超えた協働体制確立・継続アドバイザリーボードとの関係強化のためTEAMSを使う	通年	年3回	TBD	TBD	TBD	2020年度は原則的にオンライン（Zoom）だが、対面で開催する場合は、会場費が発生。
他団体との連携	10	他団体・組織と連携し、win&winの関係を築くことで、ICFJ正会員への提供価値強化や正会員等の拡大を図る。	通年	2団体	TBD	TBD	TBD	同上
国内広報	12	ICFJの活動をタイムリーに分かり易く伝えるために、映像を使った情報発信を開始。	年間	TBD	0	100,000	▲100,000	機材、ソフト購入費用 youtubeやVIMEO等
業務プロセス改善横断	14	各種イベントや運営プロセスで生じる様々な業務改善を、全体最適を図りながら行っていく。	年度中	改善案5件	0	300,000	▲300,000	ツール導入

3-(3)-2　予算案

収益	受取会費	2,240,000
	受取イベント費	2,805,000
	教材等売上	0
	受取寄付金	0
	受取支援金	1,000,000
	収益計	6,045,000

事業費	業務委託費	400,000
	イベント経費（含会場費）	931,700
	小計	1,331,700
管理費	業務委託費	1,500,000
	地代家賃	300,000
	設備投資費	500,000
	事務用消耗品	300,000
	会議費	610,000
	旅費交通費	500,000
	通信費	100,000
	支払手数料	120,000
	諸会費	100,000
	広告宣伝費	200,000
	支払法人税	270,000
	租税公課	100,000
	小計	4,600,000
	経費計	5,931,700

正味財産期末残高	5,696,840
（正味財産期初残高	3,731,554 ）

４.決議事項

4-(1) 決算、事業計画ならびに予算の承認

⇒2-(1) 並びに 3-(3)参照

4-(2) 理事の選任（補欠）

⇒1-(7)-２参照